

令和7年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部	中学部		学 年	3年	
教科等名	数学		グループ名	1グループ	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・数を数えたり、大きさや長さを比べたりする技能を身に付ける。 ・身の回りの物の形に注目し、共通点を見付けて分類したり、数字で表したりする力を養う。 ・身近な数学的内容に関心をもち、生活の中で学習したことを活かそうとする。 				
担当教員	○海老水 皓翔 小山 佳子(月曜) 細谷 慶明(木曜)				
予定授業時数	35				
使用教科書	教育出版「数学☆☆☆☆☆」				
月	単元(題材)名	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫
通年	カレンダーを読む 時計を読む 個別課題学習	○	<ul style="list-style-type: none"> ・日付、曜日を確認する。 ・1週間、1カ月の行事や流れを知る。 ・個々の課題に応じてマッチング、数える、分類、計算などの個別課題に一定時間取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今日の日付を正しく答えることができる。 ・昨日、今日、明日が分かる。 ・10～30までの数の概念が分かり、すすんでものを数えることができる。 ・数や形の違いに気付き分類する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の実態に合わせて、カレンダーの理解に関する質問をする。 ・具体物教材やワークシートなど、個人に応じた教材を用意する。 ・タブレット端末のアプリを使用し、個人に応じた課題を行う。
4 5 6	数を数えよう 比べよう なんばんめ		<ul style="list-style-type: none"> ・数唱 ・具体物と数字をマッチングする ・数の多少 ・順番 	<ul style="list-style-type: none"> ・数字を見て、その数の具体物や半具体物を取ることができる。 ・2つの数を比べ、多い方を判断することができる。 ・順番を数え、数字で表すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の実態に応じて、数を数えるための支援ツールを用意する。
7 9	色や形で分けてみよう 形を作ろう	○	<ul style="list-style-type: none"> ・図形(丸、三角、四角) ・色と形のマトリクス ・タングラム ・作図 	<ul style="list-style-type: none"> ・形の特性に気付き、何の形か判断することができる。 ・身の回りの具体物を見て、丸、三角、四角の形を判断できる。 ・スティックやパズルを使って三角や四角の形を作ったり、特徴を理解して描いたりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の実態に応じて、数を数えるための支援ツールを用意する。
10 11 12	長さ、高さ、重さを測って比べよう		<ul style="list-style-type: none"> ・道具を使った長さの測定 ・重さの比較 ・大きい順、長い順に並べる 	<ul style="list-style-type: none"> ・大きい、長い、重い方を判断できる。 ・「大きい・小さい」、「長い・短い」、「重い・軽い」の言葉が分かり、質問に答えることができる。 ・計器の使い方が分かり、数値を読んだり、指定された量にしたりすることができる。 ・大きさ順や長さ順に並べる活動に興味をもち、すすんで取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・興味をもてるようゲームなどを通して比較をする。 ・「大きい」「長い」などのカード貼ったり、補助線の入ったシートの上に並べたりして比較する。
1 2 3	表を作ろう 時間を知ろう		<ul style="list-style-type: none"> ・得点や簡単なデータを表に表す。 ・1日の時間の流れ 	<ul style="list-style-type: none"> ・マッチングしてシートに並べるなどして、数を数えることができる。 ・数直線の長い方を判断して、多い方が分かる。 ・1番多い、1番少ない、が分かり、順位を比べようとする。 ・1日の時間の流れに気付く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の実態に応じて、数を数えたり比べたりするための支援ツールを用意する。 ・生徒の生活に基づいた時間を扱う。

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。

令和7年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部	中学部	学 年	3年		
教科等名	数学	グループ名	2グループ		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・たし算、ひき算、かけ算、わり算の力を高め、大きな数も扱えるようになる。 ・計算や図形・グラフなど、日常生活で数学的な考え方を生かせるようになる。 ・数学的活動の楽しさや数学のよさに気付き、学習を振り返ってよりよく問題を解決しようとする態度、数学で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。 				
担当教員	○桶田 宏樹				
予定授業時数	35				
使用教科書	教育出版「数学☆☆☆☆☆」				
月	単元(題材)名	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫
通年	カレンダーを読む 時計を読む 計算しよう 個別課題学習	○	<ul style="list-style-type: none"> ・四則計算 ・筆算 ・時間などの計算 ・計算アプリ 	<ul style="list-style-type: none"> ・実態に応じた計算ができる。 ・筆算の計算方法を覚えて活用できる。 ・いろいろな単位の意味や読み方を覚えて計算できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通して、学習することで、数概念を習得できるようにする。 ・計算アプリを使い復習できるようにする。
4 5	4けたの数の計算 面積	○	<ul style="list-style-type: none"> ・4位数のたし算とひき算 ・面積の比較 	<ul style="list-style-type: none"> ・4位数のたし算とひき算の計算ができる。 ・図形の面積を任意単位で測定で求めることができる。 ・複数の図形の面積を比較することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計算の順番を例示する。 ・実態に応じたプリントを繰り返し行い、定着を図る。
6 7	計算のきまり 計算機 角度	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ひき算と確かめのたし算 ・計算機を使った、足し算と引き算(4位数) ・角度の比較 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひき算と確かめのたし算の意味を知ることができる。 ・計算機を使って、4桁の加減計算をすることができる。 ・具体物を使って図形の角度を比較することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実態に応じたプリントを繰り返し行い、定着を図る。 ・計算機の使い方を繰り返し確認する。
9 10	かけ算 わり算 時刻と時間	○	<ul style="list-style-type: none"> ・かけ算の意味、かけ算の式、九九、かけ算の理解 ・わり算の意味、わり算の式 ・時間の単位 時間の計算 	<ul style="list-style-type: none"> ・九九を暗唱することができる。 ・わり算の意味や仕組みを知ることができる。 ・時間の単位を理解し、「〇〇分後」など時間の計算をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・歌などのリズムで九九を覚えられるようにする。 ・模擬の時計を活用し、イメージしやすくする。
11 12	小数 分数 2つの量の変わり方	○	<ul style="list-style-type: none"> ・1より小さい数の読み方、小数点について ・1/2、1/4など簡単な分数について知る ・2つの数量の関係(割合) 	<ul style="list-style-type: none"> ・小数の読み方を理解することができる。 ・1/2、1/4など簡単な分数について知ることができる。 ・計算機を使って割合を求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体物を使って分数の理解を図る。 ・実態に応じたプリントを繰り返し行い、定着を図る。
1 2 3	□を使った式と図 折れ線グラフ	○	<ul style="list-style-type: none"> ・□を使って数量の関係を式で表す ・□に数を当てはめて調べる 	<ul style="list-style-type: none"> ・□を使って数量の関係を式で表すことができる。 ・□に数を当てはめて計算することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な事例を題材にする。 ・実態に応じたプリントを繰り返し行い定着を図る。

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。

令和7年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部	中学部		学 年	3年	
教科等名	数学		グループ名	3グループ	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・たし算、ひき算、かけ算、わり算の力を高め、大きな数も扱えるようになる。 ・計算や図形・グラフなど、日常生活で数学的な考え方を生かせるようになる。 ・数学的活動の楽しさや数学のよさに気づき、学習を振り返ってよりよく問題を解決しようとする態度、数学で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。 				
担当教員	○三富 武				
予定授業時数	35				
使用教科書	教育出版「数学☆☆☆☆☆」				
月	単元(題材)名	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫
通年	カレンダーを読む 時計を読む 計算しよう 個別課題学習	○	<ul style="list-style-type: none"> ・四則計算 ・筆算 ・時間などの計算 ・計算アプリ 	<ul style="list-style-type: none"> ・実態に応じた計算ができる。 ・筆算の計算方法を覚えて活用できる。 ・いろいろな単位の意味や読み方を覚えて計算できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通して、学習することで、数概念を習得できるようにする。 ・計算アプリを使い復習できるようにする。
4 5	4けたの数の計算 面積		<ul style="list-style-type: none"> ・4位数のたし算とひき算 ・面積の単位と求め方 	<ul style="list-style-type: none"> ・4位数のたし算とひき算の計算ができる。 ・面積の単位を知ることができる。 ・図形の面積について求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計算の順番を例示する。 ・実態に応じたプリントを繰り返し行い、定着を図る。
6 7	計算のきまり 計算機 角度		<ul style="list-style-type: none"> ・ひき算と確かめのたし算 ・計算機を使った、足し算と引き算(4位数) ・角度の単位と測定 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひき算と確かめのたし算の意味を知ることができる。 ・計算機を使って、4位数の加減計算をすることができる。 ・分度器を使って角度を測定することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実態に応じたプリントを繰り返し行い、定着を図る。 ・計算機の使い方を確認する。
9 10	かけ算 わり算 時刻と時間		<ul style="list-style-type: none"> ・かけ算の意味、かけ算の式、九九、かけ算の理解 ・わり算の意味、わり算の式 ・時間の単位 時間の計算 	<ul style="list-style-type: none"> ・九九を暗唱することができる。 ・かけ算を使った文章問題を解くことができる。 ・わり算の意味を知ることができる。 ・時間の単位を理解し、時間の計算をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲーム感覚で九九を覚えるようにする。 ・実態に応じたプリントを繰り返し行い、定着を図る。
11 12	小数 分数 2つの量の変わり方		<ul style="list-style-type: none"> ・1より小さい数の読み方、小数点について ・1/2、1/4など簡単な分数について知る ・2つの数量の関係(割合) 	<ul style="list-style-type: none"> ・小数の読み方を理解することができる。 ・1/2、1/4など簡単な分数について知ることができる。 ・計算機を使って割合を求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体物を使って分数の理解を図る。 ・実態に応じたプリントを繰り返し行い、定着を図る。
1 2 3	□を使った式と図 折れ線グラフ		<ul style="list-style-type: none"> ・□を使って数量の関係を式で表す ・□に数を当てはめて調べる 	<ul style="list-style-type: none"> ・□を使って数量の関係を式で表すことができる。 ・□に数を当てはめて計算することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な事例を題材にする。 ・実態に応じたプリントを繰り返し行い定着を図る。

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。